

R I M A G E[®]

Rimage Professional™ 3410 および 5410N ユーザー ガイド



本社:

Rimage Corporation
201 General Mills Blvd,
Golden Valley, MN 55427,
USA

+1-800-553-8312 (北アメリカ)
サービス:+1 952-946-0004
(メキシコ/ラテンアメリカ)
ファックス:+1 952-944-6956

ヨーロッパ本社:

Rimage Europe GmbH
Albert-Einstein-Str.26
63128 Dietzenbach
Germany

電話:+49 6074-8521-0
ファックス:+49 6074-8521-100

アジア/太平洋本社:

リマージュジャパン株式会社
〒106-0032 東京
港区六本木 7-4-8
WIND ビル 2F

電話:+81-3-5771-7181
ファックス:+81-3-5771-7185

Rimage Corporation は、本書に記載されている機器およびソフトウェアを予告なしに改訂する権利を所有しています。Rimage Corporation は、あらゆる個人または組織に通知する義務なく、本書を改訂または記載内容を随時改訂する権利を所有します。

このドキュメントには、発行時に有効であった Web サイトへのリンクが含まれていますが、現在そのサイトが移動している、または無効である場合があります。本書には、第三者によって所有および運営されているインターネット上のサイトへのリンクが記載されている場合があります。Rimage Corporation は、第三者のサイトの内容に関しては、責任を負いかねます。

©2020, Rimage Corporation

Rimage® は、Rimage Corporation の登録商標です。Professional™ および Everest™ は、Rimage Corporation の商標です。Dell™ は、Dell Computer Corporation の商標です。FireWire™ は、Apple Computer, Inc. の商標です。Windows® は、Microsoft Corporation の登録商標です。

他のすべての商標および登録商標は、それぞれの所有者の財産です。

本ドキュメントの最新版は www.rimage.com/support から入手できます。

目次

概要	1
本ユーザー ガイドについて	1
Professional 3410 および 5410N について	1
アクセサリ キット	2
開梱およびセットアップ取扱説明書	2
重要情報	3
サポート連絡先	3
オンラインでご覧いただける詳細情報	3
テクニカル サポート	3
光ディスク記録ソフトウェアの免責条項	3
安全性および法令順守に関する情報	4
安全のための予防措置	4
広帯域データ通信システムに関する、各国における注意および警告: 2400-2483.5 MHz	5
法令順守に関する情報	6
プリンタの要件	7
リボンの要件	7
Everest 400 リボン	7
ラベル デザインの要件	7
印刷の要件	7
Professional 3410 および 5410N の部品の確認	8
正面図	8
Professional 3410 および 5410N の部品の確認	9
背面図	9
3410	9
5410N	9
部品情報	10
状態表示ランプ	10
コントロール パネル	10
コントロール パネルの表示図	10
Professional 3410 および 5410N の部品の確認	10
PC 電源ボタン	11
Professional 3410 および 5410N の部品の確認	11
Professional 3410 および 5410N システムの操作	12
システムの電源をオンにする	12
システムの電源をオフにする	12
Professional 3410 および 5410N システムの操作	13
システムの一時停止	13
ディスクの装着	13
ディスクを取り出します	13
プリンタトレイにディスクを装着する	13

Professional 3410 および 5410N システムの操作	14
レコーダトレイにディスクを装着する	14
Windows PC 上での印刷環境設定	15
印刷環境設定へのアクセス	15
Windows の[スタート]メニューから印刷環境設定にアクセス	15
CD Designer ソフトウェアから印刷環境設定にアクセス	15
PDF ファイルの印刷環境設定へのアクセス	15
メディア タイプおよびメディア サイズ、印字方向リボン タイプの設定	16
印刷品質、カラー マッチング、画像調整の設定	16
印刷可能領域の設定	17
印刷位置および色濃度の調整	17
リボン残量のチェック	18
印刷リボンと再転写リボンの交換	19
印刷リボンの交換	19
印刷リボンの取り外し	19
印刷リボンの取り付け	20
再転写リボンの交換	22
再転写リボンの取り外し	22
再転写リボンの取り付け	23
3410 および 5410N のメンテナンス	25
概要	25
注意事項	25
予防メンテナンス スケジュール	25
3410 および 5410N のメンテナンス	26
Everest 400 プリンタのクリーニング	26
印刷ヘッドのクリーニング	26
粘着ローラーのクリーニング	27
3410 および 5410N のメンテナンス	27
3410 および 5410N のメンテナンス	28
センサーのクリーニング	28
3410 および 5410N のメンテナンス	29
Gemini ユーティリティの操作	30
Gemini ユーティリティの操作	30
Gemini ユーティリティの開始	30
オートローダの表示名の変更	30
警報器を有効にする	30

概要

本マニュアルは、Rimage Professional™ 3410 および 5410N システムの操作および設定、メンテナンスに必要な事項を説明しています。本マニュアル内で用いられる「システム」および「オートローダ」という言葉は、どちらも 3410 と 5410N を指すものとします。また、3410 と 5410N との間で相違がある場合はその旨言及します。「プリンタ」という言葉は統合された Everest 400 プリンタを指すものとします。

技術面に関する情報については www.rimage.com/support の『Rimage Professional 3410 and 5410N Specification (Rimage Professional 3410 および 5410N の仕様)』を参照してください。[Support (サポート)] ページから、[Professional Series (Professional シリーズ)] > [製品名] > [User Manual (ユーザー マニュアル)] タブの順に選択します。

重要! お使いの Rimage Professional 3410 あるいは 5410N システムは、本ユーザー ガイドに記載されたモデルとは外観が異なる場合があります。

本ユーザー ガイドについて

- 当社ではすべてのバージョンのマニュアルおよび説明書を保存するように努めていますが、当社ウェブサイトで閲覧できる英語バージョンでは常に最新の情報を提供しています。
- 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 7 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティングシステムのナビゲーションは多少異なる場合があります。
- 本マニュアルでは、情報のタイプに応じて以下の記号が使用されています。

ヒント: あまり知られていない別の方法が示され、本製品の利点や機能の理解に役立つ情報が記載されています。

重要!

- 「重要!」には、タスクの完了に欠かせない情報が提供されます。
- 重要な追加情報。
- 「ヒント」の情報を読まなくてもタスクを完了できますが、「重要!」の記載は必ず読むようにしてください。

注意: 「注意」は、記載されたガイドラインの順守を怠る場合、機器または製品、ソフトウェア、データに損失または損傷が生じる恐れがあることを示します。

警告! 「警告!」は、記載されたガイドラインの順守を怠る場合、機器の操作または保守担当者に身体的傷害が生じる恐れがあることを示します。

Professional 3410 および 5410N について

3410 および 5410N は、Rimage Professional シリーズの製品です。3410 システムは、3410 オートローダと統合された Everest 400 プリンタで構成されています。5410N システムは、5410N オートローダと Everest 400 プリンタ、内蔵コントロール センター (PC) で構成されています。統合された Everest 400 プリンタについては、本ユーザー ガイド内に説明が記載されています。

PC を内蔵しない 3410 システムには、外付け PC を併せて使用します。PC を内蔵していないシステムをご購入いただいた場合、外付け PC は製品に同梱されていません。外付けコントローラ センターとして使用する PC を各自でご用意ください。3410 システムを使用する上での PC の最低要件については、www.rimage.com/support の『Rimage Professional 3410 and 5410N Specification (Rimage Professional 3410 および 5410N 仕様)』を参照してください。

5410N の内蔵 PC は、ネットワーク対応デバイスで、ネットワークに接続された他のコンピュータからオーダーを受信します。オートローダは、Microsoft Remote Desktop Connection や Rimage WebRSM を使用してリモートで操作することも、モニタおよびマウス、キーボードを接続してローカルで操作することも可能です。

ネットワークのセットアップ方法、およびネットワークに接続した PC からオーダーを送信する方法については、www.rimage.com/support の『Rimage Advanced Setup (Networking) Guide (Rimage アドバンスド セットアップ (ネットワーク) ガイド)』を参照してください。

アクセサリ キット

Professional 3410 もしくは 5410N に同梱されている Rimage アクセサリ キットには、次が含まれています。

3410	5410N
• Rimage Professional 3410 セットアップおよびインストールガイド • ユーザー用ドキュメンテーション ディスクには次が含まれています。 ▪ Rimage Professional 3410 および 5410N ユーザー ガイド(本文書) ▪ アドバンスド セットアップ (ネットワーク) ガイド ▪ 診断テスト ガイド • A/C コード • USB コード • Rimage Software Suite—Standalone または Rimage Software Suite—Network の ディスク ホルダ • Rimage 製品保証規定 • サンプル CD	• Rimage Professional 5410N セットアップおよびインストール ガイド • ユーザー用ドキュメンテーション ディスクには次が含まれています。 ▪ Rimage Professional 3410 および 5410N ユーザー ガイド(本文書) ▪ アドバンスド セットアップ (ネットワーク) ガイド ▪ 診断テスト ガイド • A/C コード • DVI ドングル • Rimage Software Suite—Standalone または Rimage Software Suite—Network の ディスク ホルダ • Rimage Recovery ディスクの説明書 • Rimage 製品保証規定 • サンプル CD

開梱およびセットアップ取扱説明書

Professional 3410 または 5410N を開梱するには、梱包箱に貼付の開梱法についてのラベルを参照してください。セットアップの手順については、製品に同梱の『セットアップおよびインストール ガイド』を参照してください。

重要情報

本セクションでは、Professional 3410 と 5410N に関し、サポートのための問い合わせ先および注意や警告、製品仕様について説明します。
本製品に関する技術的仕様は、www.rimage.com/support を参照ください。
[Support (サポート)] ページから、[Professional Series (プロフェッショナル シリーズ)] > [Professional 3410] あるいは [Professional 5410N] > [User Manuals (ユーザー マニュアル)] タブの順に選択します。

サポート連絡先

米国、カナダ、南米	
Rimage Corporation 201 General Mills Blvd, Golden Valley, MN 55427, USA Attn:Rimage Services	電子メール: support@rimage.com 電話:北米:800-553-8312 メキシコ/南米:952-944-8144 ファックス:952-944-7808
ヨーロッパ	
Rimage Europe GmbH Albert-Einstein-Str.26 63128 Dietzenbach Germany	電子メール: support@rimage.com 電話:+49 6074-8521-14 ファックス:+49 6074-8521-100
アジア/太平洋	
リマージュジャパン株式会社 〒106-0032 東京 港区六本木 7-4-8 WIND ビル 2F	電子メール: apsupport@rimage.co.jp 電話:+81-3-5771-7181 ファックス:+81-3-5771-7185

Rimage Services 連絡先:	
ウェブサイト: www.rimage.com/support ナレッジベース: www.rimage.com/support ログインして、[Ask a Question (質問する)] タブを選択	
Rimage サービスにお問い合わせになる際は、以下の情報をご用意ください。 - システムのシリアル番号とソフトウェアのバージョン - エラーの機能的および技術的説明 - 表示された正確なエラー メッセージ	将来参照するために Rimage 製品に記載された次の情報を書き留めておいてください。 注記:製品を交換した場合は、必ずシリアル番号を更新してください。 シリアル番号: 製品名: ご購入日:

オンラインでご覧いただける詳細情報

www.rimage.com/support で、Rimage の世界でトップレベルのサポートとサービスを受けることができます。

[Support (サポート)] ページから、 - ご使用の製品シリーズを選択します。 - ご使用の製品を選択します。 - 製品ページで詳細をご覧ください。	製品ページから、以下の情報にアクセスすることができます。 - ソフトウェアおよびファームウェアの最新情報 - 製品仕様 - 最新ドキュメント - 最新のファームウェアおよびドライバのダウンロード
--	---

テクニカル サポート

Rimage では、翌営業日に現地サポートを実施、交換サービス、ソフトウェア サブスクリプションおよびサポートなど、様々な Professional 3410 および 5410N に関するサービスおよびサポート オプションを提供しています。詳細情報および価格については、Rimage の付加価値再販業者や Rimage 社までお尋ねください。

重要! 年間の部品および作業のサポートおよび、優先電話サポートが受けられるように、ご購入のオートローダを登録してください。登録は、<http://www.rimage.com/support/warranty-registration> から行えます。

光ディスク記録ソフトウェアの免責条項

本製品、ソフトウェアおよび説明書は、著作権の所有者もしくは著作権者から書面によるコピーの許可を受けている場合、複製することができます。使用者が著作権を所有する、もしくは、著作権者から複製の許可を取得していない限り、使用者には、著作権法違反ならびに損害賠償および他の賠償の支払いが課せられる恐れがあります。ご自身の権利に関して不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。使用者が著作権を所有せず、また著作権所有者からの許可も得ていない場合、光ディスク、その他のメディア上の著作権のあるマテリアルを無断で複製することは国内および国際上の法令を侵害することになり、厳しい処罰が科せられることになります。

安全性および法令順守に関する情報

本マニュアルおよび製品に関する指示により、適切で安全な操作が可能になります。以下の表示マークは、ユーザーならびに他の人の身体的傷害および機器損傷の防止を支援します。

安全のための予防措置

安全の確保のため、以下の注意事項をよくお読みになり、内容をご理解された上で機器をご使用ください。

警告!

- CD/DVD/BD レコーダーのレーザー ビームには、クラス 1 レーザーが使用されています。レコーダーを開けないでください。すべてのサービス手順は、担当技術者が実施する必要があります。
- 本書に規定されている以外の方法で、制御または調整機能を使用したり、処置を実施したりすると、有害な放射露光が生じる恐れがあります。
- 本機と光学機器を併用しないでください。併用すると、目を損傷する危険性が大幅に増加します。
- プリンタを分解したり、工具を使用しないでください。すべてのサービス手順は、Rimage が承認した技術者によって行われるようにするか、または Rimage が承認する修理店にお送りください。
- プリンタの内部には、鋭角な箇所があります。
- ヒーター ローラーには触れないでください。
- 回路基板には触れないでください。静電気により回路基板が損傷を受ける場合があります。
- 背面パネルを取り外す前には、必ずオートローダの電源をオフにしてください。
- 本製品に対する認可されていない変更または修理は、操作における使用者の権利を侵害する恐れがあります。
- 本トランスミッタは、他のアンテナおよびトランスミッタと一緒に配置したり、連結して操作したりしないでください。
- 本機は、FCC が無制御環境に対して規定した、放射線露光量制限に基づいたものであり、OET65 に対する補足 C にある、FCC の無線周波数 (RF) 露光量ガイドラインの要件を満たしています。本機が持つ RF エネルギーは、最大許容露光量 (MPE) の評価をぜずとも制限が順守できるほど非常に低レベルです。しかし、取り付けおよび操作時には、放熱体から少なくとも 20 センチ以上は離れて作業を行うのが理想的です (手、手首、足首といった四肢先端は除く)。
- 動作中、レコーダーの近くに手を置かないでください。静電放電で、ディスクが不良となることがあります。

注意:

- 火災の危険に対する継続的な保護のために、交換するヒューズは、同一の種類および定格のものだけにしてください。すべてのサービス手順は、担当技術者が実施する必要があります。
- 同梱の交流電源コードのみ、または、標準規格の電源コードをご使用ください。北米以外でご利用になる場合、各地域の標準規格電源コードの選択においてサポートが必要な場合は、最寄の Rimage にお問い合わせください。
- 本製品はオフィス用機器として設計されています。
- Professional 3410 および 5410N ではリチウム電池を使用しています。リチウム電池を不適当な電池と交換すると爆発する危険があります。古い電池は電池のパッケージに記載された製造業者の指示に従って廃棄してください。
- スイッチ、電源、ヒューズ、ファン、非ステップング モーターなどの交流線電圧または直流低電圧を有するすべての機器は、UL 規格によって発行された安全承認を維持するために、Rimage に承認されたコンポーネントと交換する必要があります。
- プリンタトレイを開くための十分なスペースを確保してください。プリンタトレイが動いているときは触らないでください。
- 電源が投入されている間に、サイド カバーを開くと、プリンタは停止します。作動中のプリンタには触れないでください。ドアのインターロック装置を無効にしないでください。

重要情報

広帯域データ通信システムに関する、各国における注意および警告:2400-2483.5 MHz

警告!

- 本装置は、カナダ産業省のRSS規制に適合しています。動作は、以下の2つの条件に従います。(1) 本装置は、有害な妨害を発生してはいけません、および(2) 本装置は、好ましくない動作を引き起こす妨害を含むどのような妨害も受け入れなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'empêcher le fonctionnement.

- 本機は、IC が無制御環境に対して規定した、放射線露光量制限に基づいたものであり、IC 無線周波数 (RF) 露光量規制の RSS-102 を満たしています。本機が持つ RF エネルギーは、最大許容露光量 (MPE) の評価をぜずとも制限が順守できるほど非常に低レベルです。しかし、取り付けおよび操作時には、放熱体から少なくとも 20 センチ以上は離れて作業を行うのが理想的です (手、手首、足首といった四肢先端は除く)。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'IC. Cet équipement émet une énergie RF très faible qui est considérée conforme sans évaluation de l'exposition maximale autorisée. Cependant, cet équipement doit être installé et utilisé en gardant une distance de 20 cm ou plus entre le dispositif rayonnant et le corps (à l'exception des extrémités : mains, poignets, pieds et chevilles).

- 韓国: 해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다
A급 기기 (업무용 방송통신기자재)
이 기기는 업무용 (A급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

- 台湾: 低出力ラジオのタイプの認定を受けると、企業、会社またはユーザーは適切な認可なしで、周波数の変更、出力の増加、当初の設計の特徴や機能を変更することは許可されません。低電力無線電気装置は飛行機の操縦に影響を与えたり、合法的な通信を妨害してはならず、こうした干渉が明らかになった際には直ちに装置を無効化し、干渉が起らないよう修正されるまで使用を控える必要があります。合法的な通信とは、Telecommunications Act of Radio Communication (無線通信に関する電気通信法) に定められている操作を指します。低電力無線通信は、合法的な通信に使用する電気装置、ならびに商業、化学、医療用無線放射線を妨害してはなりません。
第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。
前項合法通信，指依電信信法規定作業之無線電通信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。
- China:
 - 使用频率: 2400~2483.5MHz
 - 等效全向辐射功率 (EIRP) $\leq 10\text{mW}$
 - 频率容限: $\pm 75\text{kHz}$
 - 不得擅自更改发射频率、加大发射功率 (包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线；
 - 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现有干扰现象时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用；
 - 使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰；
 - 不得在飞机和机场附近使用。

注意:

- フランス: 野外で使わないでください。
- イタリア: 自分の都合で屋外で使用する場合は、一般的な認可が必要です。
- ノルウエー: 本件は Ny-Alesund の中心から半径 20km 以内の場所には適用されません。

重要情報

法令順守に関する情報

製品	Professional 3410	Professional 5410N
モデル	RAS27	RAS27E
米国における注意	注記: 本機は、FCC 規則の第 15 章に基づき試験後、A クラスのデジタルデバイスの制限に適合すると判断されています。これらの制限は、本機が商業環境において操作される場合、有害な妨害に対して妥当な保護を提供することを目的にしています。本機は、電磁波を発生、使用し、放射することがあり、取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な妨害を引き起こす恐れがあります。住宅地域で本機を動作させると、ユーザーが、自費で修正を要求される有害な妨害を引き起こす恐れがあります。 本製品は、UL 規則 60950-1 第 2 版に適合します。	
カナダにおける注意	本 A クラスデジタル装置は、カナダの ICES-003 公布 4:2004 に適合します。Cet appareil numerique de la classe A est conforme a la norme NMB-003 du Canada. 本製品は、CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-07 第 2 版 に適合します。	
ヨーロッパにおける注意	本製品は、以下のヨーロッパ標準に準拠する、EMC 指令 (89/336/EEC) および低電圧指令 (73/23/EEC) に適合します。 EN 55022:2006 + A1:2007 Class A Limit; EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003; EN 61000-3-2:2006; EN 61000-3-3:1995 + A1:2001+A2:2005; EN 60950-1:2006 + A11:2009.CE マークは、CE Marking Directive 93/68/EEC に従って貼られています。	
日本における注意	情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づく A クラス製品です。本機器は、家庭環境で使用すると電波妨害が発生する恐れがあります。この場合、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 バンドルされている電源ケーブルは、当社の機器で使用する ことだけを目的としています。 - 必ず当社の機器にバンドルされている電源ケーブルを使用してください。 - バンドルされている電源ケーブルは、他の機器では使用しないでください。	翻訳: 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (V C C I) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。 この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 本製品に付属の電源コードは専用の電源コードです。 •本製品には、付属の電源コードを必ずご利用下さい。 •本製品に付属の電源コードを、他の機器に使用しないで下さい。
オーストラリアにおける注意	本製品は、AS/NZS CISPR22:2004 に適合します。	
韓国における注意	前述の機器は、電気通信基本法および電波法に基づき認定されています。 翻訳: 위 기기는 전기통신기본법, 전파법 에 따라 인증되었음을 증명 합니다.	
台湾における注意	本製品はクラス A デジタル機器であり、住宅地で使用すると無線周波干渉 (妨害) が生じる可能性があります。そのため、住宅地で使用する場合は適切な保護対策を講じるようにしてください。 翻訳: 警告使用者: 此為甲類資訊技術設備, 於居住環境時, 可能会造成射頻擾動, 在此種情況下, 使用者會被要求採取某些適當的對策。	

重要情報

プリンタの要件

本セクションでは統合された Everest 400 プリンタのリボン、ラベルのデザインおよび印刷の要件について説明します。

リボンの要件

重要!

- Rimage は、当社プリンタに使用するリボンについては、Rimage ブランドのリボンのみをサポートしています。Rimage 以外のメーカーのリボンを使用した結果生じたプリンタの問題は、Rimage の保証または保守契約に含まれていません。
- 最善の結果を得るために、Everest のリボンは必ず華氏 41~95 度 (摂氏 5~35 度) の温度および 45~85% の湿度で保管してください。
- 湿気と直射日光は避けてください。
- リボンの再使用は避けてください。
- お使いの Everest 400 プリンタ専用のリボンをご使用ください。以下の表を参照してください。

統合された Everest 400 プリンタには、印刷リボン、およびディスクラベルに印刷するための再転写リボンが必要です。標準の印刷リボンには、三色あります:シアン、マゼンタおよびイエロー (CMY) です。これらの三色は、印刷作業で結合しフルカラーのディスクを作成します。印刷リボンには、ブラック (モノクロ)、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト (CMY+W) もあります。

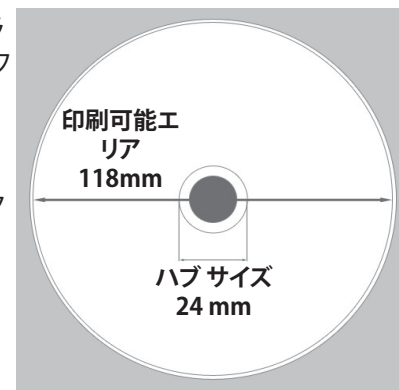
Everest 400 リボン

リボンタイプ	ディスクの印刷枚数
三色 (CMY)	500
四色 (CMY+W)	325
ブラック (モノクロ)	1000
再転写リボン	500

ラベル デザインの要件

Rimage の Windows 対応 CD Designer™ ラベル エディタ ソフトウェアは、オートローダーと一緒に出荷されます。CD Designer は、Rimage ソフトウェアの標準インストール時に内蔵/外付け PC にインストールされ、これを用いてデザインしたラベルが内蔵の Everest 400 プリンタにより印刷されます。CD Designer によるラベルのデザイン機能は、Windows を搭載したすべての PC 上で利用可能です。

- **ファイル形式** – 最良の結果を得るためには、ラベルを JPEG または TIFF 形式で保存します。これらのファイル形式は CD Designer にインポートして CD Designer ファイル (.btw) として保存し、印刷の前には PDF ファイルに変換する必要があります。
- **カラー モード** – すべてのラベルを RGB カラー形式に変換し、CD Designer にインポートします。
- **解像度 (ピクセル/インチ)** – 最良の結果を得るためには、最低 300 ピクセル/インチ以上のイメージを使用します。600 ピクセル/インチ以上のイメージを使用すると、印刷結果がさらに向上します。
- **ラベル デザイン サイズ** – デザイン ラベルは高さ 12 cm、幅 12 cm です。フルサイズのディスクは直径 120 mm (4.723 インチ) です。穴部の直径は 15mm (0.59 インチ) です。印刷可能エリアおよびハブ サイズは、ディスクのメーカーにより異なります。



ヒント:Rimage Media Kits に入っているメディアの印刷可能領域は 118 ~24 mm です (上図を参照)。たいていのラベルについては、118 mm と 24 mm の印刷設定を推奨します。

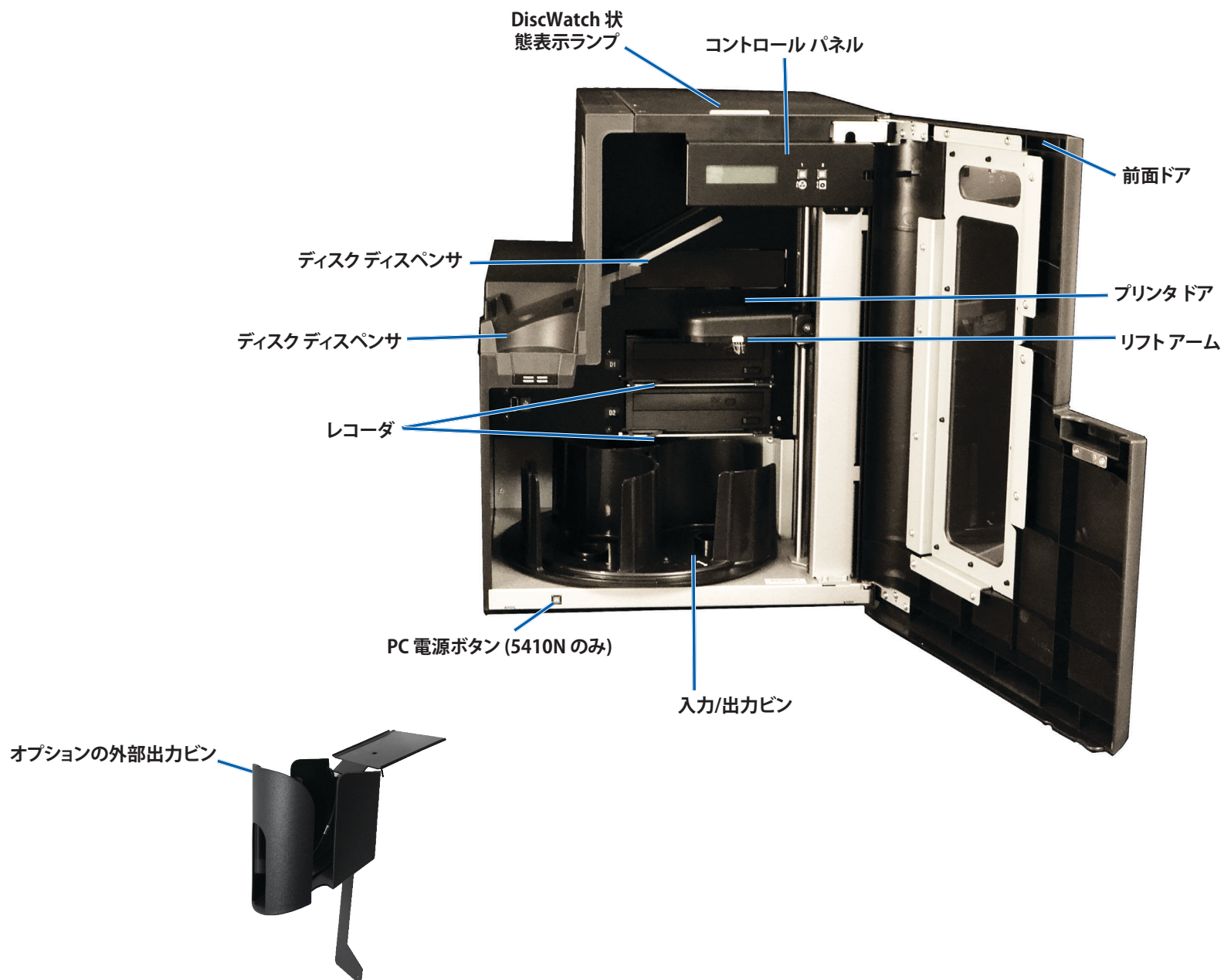
印刷の要件

CD Designer を使用して作成および保存したラベルは、Rimage 3410 および 5410N システムに統合された Everest 400 プリンタでの印刷に適したファイル形式 (.btw) となっています。また、PDF ファイル形式で保存されたラベルも印刷可能です。

Professional 3410 および 5410N の部品の確認

本セクションでは、3410 および 5410N システムのハードウェアおよび機能について説明します。

正面図

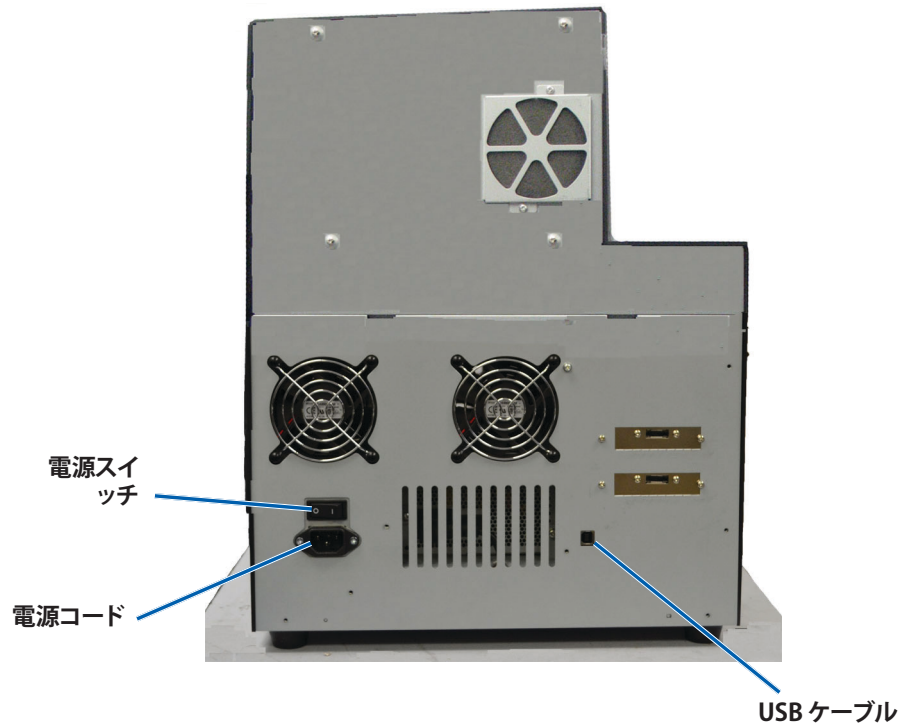


詳細については、rimage.com/supportをご覧ください。

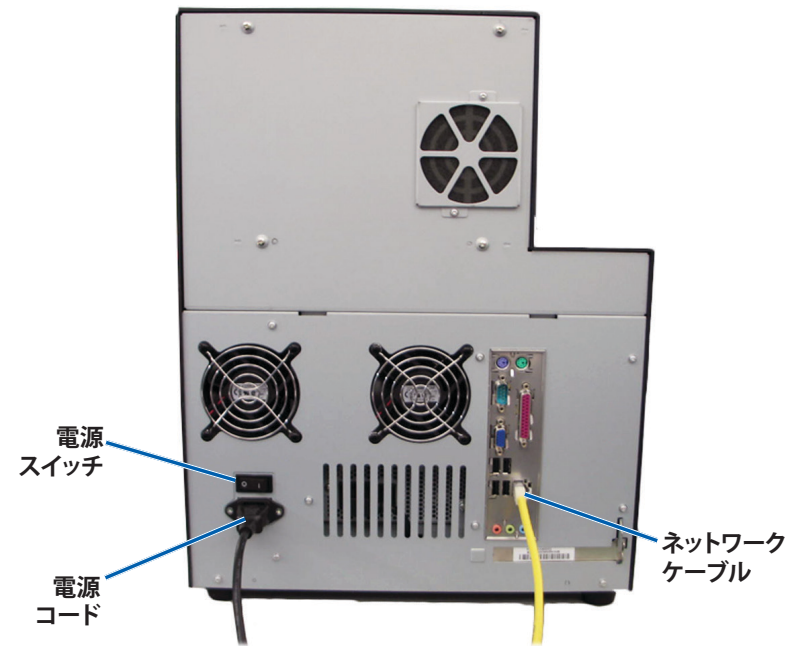
Professional 3410 および 5410N の部品の確認

背面図

3410



5410N



Professional 3410 および 5410N の部品の確認

部品情報

状態表示ランプ

Professional 3410 および 5410N は、さまざまな状態を表示する内蔵の状態表示ランプを備えています。下表で、状態表示ランプの状態が示され、各状態によって示される状態が説明されています。

ランプの状態		システムの状態
	緑色ライト点灯	システムは正常に動作しています。現在、処理中のジョブはありません。
	緑色ライト点滅	システムは正常に動作しています。現在、ジョブの処理中です。
	黄色ランプ点灯	オートローダーは、ソフトウェアの起動を待機中です。コントロールセンターが起動されていない場合は、コントロールセンターの電源をオンにしてください。オートローダーとコントロールセンターのケーブル接続を確認してください。
	黄色ランプ点滅	前面ドアが開いている可能性があります。前面ドアを閉めて、ジョブを進行させます。
	赤色ランプ点灯	回転トレイのブランク ディスクがなくなっています。ビンに適切な種類のメディアを入れます。 システム エラーで、オペレータの操作が必要です。クライアントワークステーションまたはコントロールセンターのメッセージを確認します。 回転トレイがないなど、起動時の機器エラー。クライアントワークステーションまたはコントロールセンターのメッセージを確認します。

コントロール パネル



コントロール パネルは、3410 および 5410N の正面に設置されており、**オペレータ パネル**、**トレイ回転ボタン (ボタン 1)**、**プリンタトレイ ボタン (ボタン 2)** が含まれます。コントロール パネルではシステムの監視および制御が可能です。

重要! コントロール パネルを操作するにはオートローダの前面ドアを開きます。ドアを開けないで表示することができます。

次の表は、コントロール パネルのすべての部品名とその機能を示しています。

コントロール パネルの表示図

名前	機能
オペレータ パネル	オペレータ パネルは、オペレータの介入を必要とする操作または条件を知らせる、2 行のディスプレイが付いています。消耗品の状態も表示されます。5400N をお使いの場合、初期設定の完了後に内蔵 PC の名称が表示されます。その他のオプションを確認するには、30 ページの「 Gemini ユーティリティの操作 」のセクションを参照してください。
トレイ回転ボタン (ボタン 1) 	トレイ回転ボタンは、以下の作業を行う際に使用します。 - トレイを回転させてビンを移動し、ディスクの装着/取り外しを行うことができます。トレイ回転ボタンを 1 回押すと、回転トレイは次のビンまで回転します。 - 診断テスト モードを開始します。システムに同梱のディスクに収録されているドキュメントの『診断テストの指示』を参照してください。
プリンタトレイ ボタン (ボタン 2) 	プリンタトレイ ボタンは、以下の作業を行う際に使用します。 - プリンタトレイの開閉 - エラー後のリセット
プリンタ表示ライト (プリンタ ボタン上)	プリンタ表示ライトは、プリンタの電源がオンになった場合、および初期設定が完了した場合に点灯します。また、Everest 400 プリンタがホストからデータを受信した場合にもこのライトが点灯します。
トレイ回転表示ライト (トレイ回転ボタン上)	トレイ回転表示ライトは、回転トレイを回転させた場合に点灯します。また、オートローダがホストからデータを受信した場合にもこのライトが点灯します。

Professional 3410 および 5410N の部品の確認

PC 電源ボタン

PC 電源ボタンは 5410N のみに付属されており、内蔵 PC の電源を入れる際に使用します。詳細については、12 ページのセクション「[Rimage 3410 および 5410N の操作](#)」を参照してください。

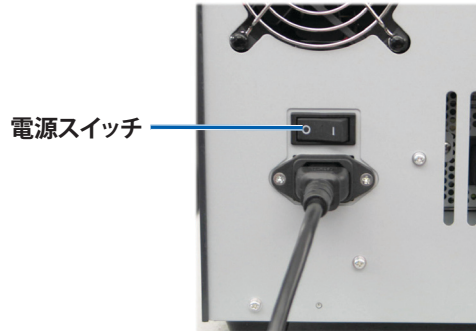
Professional 3410 および 5410N システムの操作

本セクションでは、システムの操作に必要な情報について説明します。

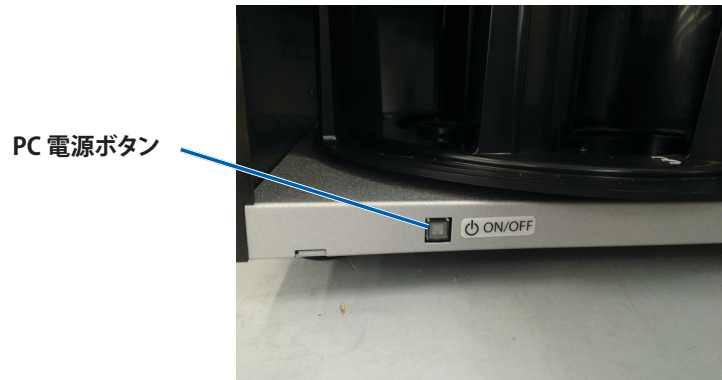
システムの電源をオンにする

1. オートローダー背面の**電源スイッチ**を押します。システムおよび統合されたプリンタの電源がオンになります。

5410N をお使いの方はステップ 2 に進んでください。



2. 5410N システム前面の**PC 電源ボタン**を押して、内蔵 PC の電源をオンにします。



システムの電源をオフにする

1. 開いているすべての**アプリケーション**を閉じます。
2. 5410N をお使いの場合は、**PC 電源ボタン**を押して離します。これで、ソフトウェアおよび Windows、内蔵 PC がシャットダウンされます。3410 をお使いの場合は、**ステップ 3**に進みます。

注意: PC 電源ボタンを押したままにしないでください。PC 電源ボタンを長押しすると内蔵 PC が正常にシャットダウンされず、データの損失や破損の原因になる場合があります。

3. システム背面にあるメインの**電源スイッチ**を押して、システムおよび統合されたプリンタの電源をオフにします。

重要!

- 内蔵 PC の電源が完全にオフになってから電源スイッチを押してください。
- システムの電源がオフになるまで約 30 秒かかります。
- プリンタを 30 分以上使用しない場合、自動的にスリープモードに替わります。スリープモードに切り替わると、ジョブが送られた後プリンタのウォームアップに最大で 6 分かかります。

Professional 3410 および 5410N システムの操作

システムの一時的停止

回転トレイにディスクを追加する際、システムを一時的に停止することができます。

1. **前面ドア**を開きます。動作が一時的に停止します。
2. **前面ドア**を閉めます。動作が再開します。

ディスクの装着

ディスクは1つの入力ビンに50枚まで装着できます。ディスクをビンに装着する手順は、以下のとおりです。

重要!ディスクは、記録する側を下向きにして入れます。

ヒント:Rimage ソフトウェアを使用すると、ビン1からビン3までを入力、出力、却下/出力に指定し、それぞれのビンのメディアの種類を指定できます。

1. **前面ドア**を開きます。
2. **トレイ回転ボタン**を押して回転トレイを目的のビンまで回転させます。目的のビンまで回転させるには、複数回ボタンを押す必要がある場合もあります。
3. 必要な**ディスク**を追加します。
4. 目的のビンが一杯になるまで、**ステップ2から3**を繰り返します。
5. **前面ドア**を閉めます。

ディスクを取り出します。

1. **前面ドア**を開きます。
2. **トレイ回転ボタン**を押して、回転トレイを回転させ、ディスクを取り出すことのできる位置にビンを移動させます。
3. **ディスク**をビンから取り出します。
4. 目的のビンが空になるまで、**ステップ2から3**を繰り返します。
5. **前面ドア**を閉めます。

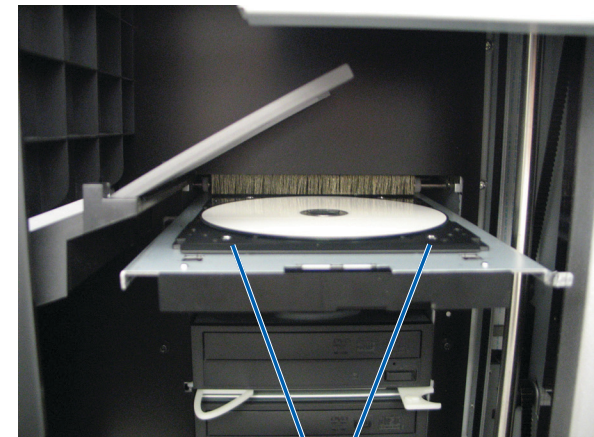
プリンタトレイにディスクを装着する

以下の手順に従い、ディスクを手動でプリンタトレイに装着します。

1. コントロールパネル上の**プリンタトレイボタン**を押します。プリンタトレイが開きます。
2. ディスクを、印刷可能面が上を向き、スタックリングが**印刷パッド**の方に向くように、印刷パッドの上に置きます。

重要!ディスクのレコーディング部分が、引っ掻き傷やダメージを受けないためには、ディスクをクランピングピンやセンタリングピンの上に置かないで下さい。

3. **プリンタトレイボタン**を押します。プリンタトレイが閉まります。



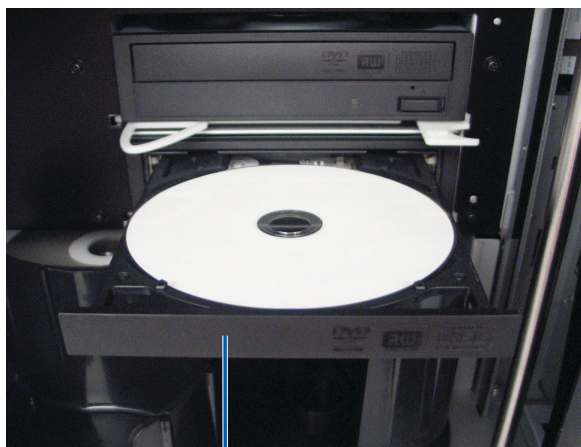
クランピングピン

Professional 3410 および 5410N システムの操作

レコーダトレイにディスクを装着する

以下の手順に従い、ディスクを手動でレコーダトレイに装着します。

1. 目的のレコーダ上で**レコーダ ボタン**を押します。レコーダトレイが開きます。
2. 印刷可能面を上にして、**レコーダトレイ**にディスクを装着します。
3. **レコーダ ボタン**を押します。レコーダトレイが閉まります。



レコーダトレイ

Windows PC 上での印刷環境設定

本セクションでは、Windows PC を使用した印刷環境設定のセットアップおよび印刷リボンと再転写リボンの残量のチェックに必要な情報について説明します。印刷環境を設定することで、統合された Everest 400 プリンタを用いたディスク ラベルの作成時に最良の印刷結果を得ることができます。

重要!特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 7 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティングシステムのナビゲーションは多少異なる場合があります。

印刷環境設定へのアクセス

以下のいずれかの手順を用いて、[Everest 400 Printing Preferences (Everest 400 印刷環境設定)] ウィンドウにアクセスします。

Windows の[スタート]メニューから印刷環境設定にアクセス

この方法を使用すると、印刷環境設定はプリンタ ドライバ設定に保存され、新規に作成するすべてのラベルに適用されます。これらがプリンタのデフォルト設定になります。

1. 次の順に選択します。[Start (スタート)] > [Devices and Printers (デバイスとプリンタ)]

ヒント:Windows XP の場合は、[Start (スタート)] > [Printers and Faxes (プリンターとファックス)] の順に選択してください。Windows Server 2008 R2 のナビゲーションについては Windows 7 と同じです。

2. 適切な **Rimage Everest 400 プリンタ** 上で右クリックします。ドロップダウン メニューが表示されます。
3. ドロップダウン メニューの [Printing Preferences (印刷環境設定)] を選択します。[Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)] ダイアログ ボックスが開きます。

CD Designer ソフトウェアから印刷環境設定にアクセス

この方法を使用すると、印刷設定がラベル ファイルと共に保存され、プリンタ ドライバ設定の代わりに使用されます。

1. CD Designer から目的のラベル ファイルを開きます。
2. [File (ファイル)] メニューで [Print (印刷)] を選択します。[Print (印刷)] ウィンドウが開きます。

3. [Name (名前)] ドロップダウン リストの中から、**Rimage Everest 400 プリンタ**を選択します。

ヒント:デフォルト プリンタとして Rimage Everest 400 プリンタが表示される場合があります。

4. [Document Properties (ドキュメント プロパティ)] ボタンを選択します。[Rimage Everest 400 Properties (Rimage Everest 400 プロパティ)] ダイアログ ボックスが開きます。

PDF ファイルの印刷環境設定へのアクセス

以下の手順に従い、PDF ファイル用の印刷環境設定にアクセスし、設定します。

重要!この手順を通じて変更した設定内容は、すべての PDF ファイルに適用されます。

1. 次の順に選択します。[Start (スタート)] > [Devices and Printers (デバイスとプリンタ)]

ヒント:Windows XP の場合は、[Start (スタート)] > [Printers and Faxes (プリンターとファックス)] の順に選択してください。Windows Server 2008 R2 のナビゲーションについては Windows 7 と同じです。

2. 適切な **Everest プリンタ 400** 上で右クリックします。ドロップダウン メニューが表示されます。
3. ドロップダウン メニューの [Printer Properties (プリンターのプロパティ)] を選択します。[Rimage Everest 400 Properties (Rimage Everest 400 プロパティ)] ダイアログ ボックスが開きます。

ヒント:Windows XP の場合は、ドロップダウン メニューから [Properties (プロパティ)] を選択してください。

4. [Rimage Everest 400 Properties (Rimage Everest 400 プロパティ)] ダイアログ ボックスから、[Advanced (詳細設定)] タブを選択します。
5. [Advanced (詳細設定)] タブの下部で、[Printing Defaults... (標準の設定)] ボタンを選択すると、[Rimage Everest 400 Printing Defaults (Rimage Everest 400 標準の設定)] ダイアログ ボックスが開きます。

Windows PC 上での印刷環境設定

メディア タイプおよびメディア サイズ、印字方向リボン タイプの設定

1. 印刷環境設定へのアクセス。15 ページ を参照してください。

2. **[Main (メイン)]** タブを選択します。

3. 印刷環境設定を表示、または変更します。

- 適切な **Media Type (メディア タイプ)** を選択します。
- 適切な **Media Size (メディア サイズ)** を選択します。
- 希望する **Copies (コピー)** 部数を選択します。

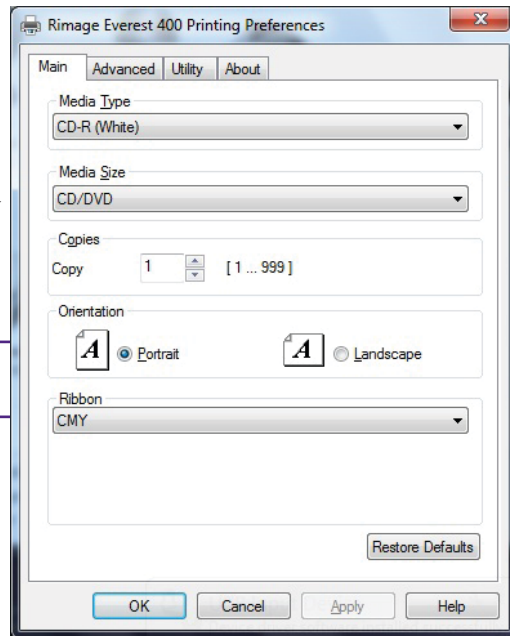
重要! コピー部数は、必ず 1 に設定します。

- 希望する **Orientation (印字方向)** を選択します。
- 適切な **Ribbon (リボン)** タイプを選択します。

- リボン タイプで **Monochrome (モノクロ)** を選択した場合は、**Grayscale (グレースケール)** や **Text (テキスト)** を選びます。
- リボン タイプで **CMY+W** を選択した場合は、ドロップダウンリストから **[Complete white undercoat (完全白色下塗り)]** か **[Make pure white transparent (純白透明色作成)]** を選択します。
 - [Complete white undercoat (完全白色下塗り)]** を選択すると、ディスクの印刷可能エリア全体に白の背景を適用します。印刷可能エリアは、**[Advanced (詳細設定)]** タブで定義されます。
 - 純白ではないラベルのエリアのみを印刷する時は **[Make pure white transparent (純白透明色作成)]** を選択します。純白ラベル エリアは、ディスク表面上の透明エリアとして印刷されます。

4. [Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)] ウィンドウで希望する選択を行った後、**[Apply (適用)]** を選択します。

5. **[OK]** をクリックして、[Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)] ウィンドウを閉じます。



印刷品質、カラー マッチング、画像調整の設定

ヒント: 詳細については、『Troubleshooting Color (色のトラブルシューティング)』のドキュメントを参照してください。

1. 印刷環境設定へのアクセス。15 ページ を参照してください。

2. **[Advanced (詳細設定)]** タブを選択します。

3. 印刷環境設定を表示、または変更します。

- [Color Matching (カラー マッチング)]** に対して希望する基準を選択します。

ヒント: カラー マッチングの既定値は **[Match for CMYK printing (CMYK 印刷に調整)]** です。

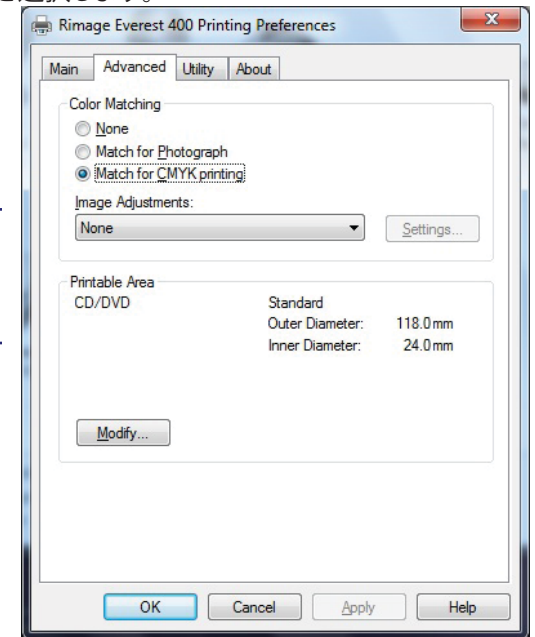
- [Image Adjustments (画像調整)]** ドロップダウンリストから、**[None (なし)]** または **[High contrast (ハイ コントラスト)]**、**[Vivid colors (強い色彩)]**、**[Custom (カスタム)]** のいずれかを選択します。

[Custom (カスタム)] を選択すると、**[Settings (設定)]** ボタンがアクティブになります。

- [Settings (設定)]** ボタンを選択します。[Custom Settings (カスタム設定)] ウィンドウが開きます。
- 希望する **[Print Threshold Settings (印刷閾値設定)]** を選択します。
- [Contrast Boost (コントラスト増強)]** スライダを動かして画像のコントラストを調整します。
- [Saturation Boost (飽和度増強)]** スライダを動かして画像の飽和度を調整します。
- [OK]** をクリックして [Custom Settings (カスタム設定)] ウィンドウを閉じます。

4. [Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)] ウィンドウで希望する選択を行った後、**[Apply (適用)]** を選択します。

5. **[OK]** をクリックして、[Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)] ウィンドウを閉じます。



Windows PC 上での印刷環境設定

印刷可能領域の設定

この機能は、標準の CD/DVD 120mm メディアに対する印刷可能エリアを調整するもので、外径と内径を設定することでディスクラベルの印刷時にディスクの縁が重なるのを防ぐことができます。

ヒント:CD Designer ラベル ファイル内で印刷可能エリアを設定した場合、Windows のプリンタおよびファックス設定は上書きされます。

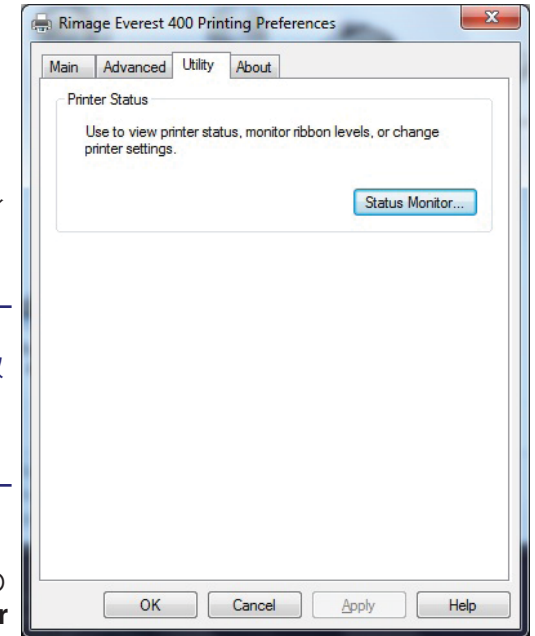
1. **印刷環境設定へのアクセス。**15 ページ を参照してください。
2. **[Advanced (詳細設定)]** タブを選択します。
3. **[Printable Area Preferences (印刷可能エリアの設定)]** を表示、または変更します。
 - a. **[Modify (修正)]** ボタンを選択します。[Printable Area Settings (印刷可能エリアの設定)] ウィンドウが開きます。
 - b. 測定の **Unit (単位)** を選択します。
 - i. 1.0 mm 単位で測定するには **[1.0 mm]** ラジオ ボタンを選択します。
 - ii. 0.1mm 単位で測定するには **[0.1mm]** ラジオ ボタンを選択します。
 - c. [Standard Area (標準エリア)] 設定のみを変更するには、**[Standard (標準)]** ラジオ ボタンを選択します。
 - i. 希望する **Outer Diameter (外径)** の値を入力します。
 - ii. 希望する **Inner Diameter (内径)** の値を入力します。
 - d. スタッキングリングが付いているディスクに印刷するときは、**[Advanced (詳細設定)]** のラジオ ボタンを選択します。[Hub Area settings (ハブ領域設定)] が表示されます。
 - i. 希望するハブの **Outer Diameter (外径)** を入力します。
 - ii. 希望するハブの **Inner Diameter (内径)** を入力します。
 - e. **[OK]** を選択して、変更内容を保存します。[Printable Area Settings (印刷可能エリア設定)] ウィンドウが閉じます。
4. [Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)] ウィンドウで希望する選択を行った後、**[Apply (適用)]** を選択します。
5. **[OK]** をクリックして、[Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)] ウィンドウを閉じます。

印刷位置および色濃度の調整

1. **印刷環境設定へのアクセス。**15 ページ を参照してください。
2. **[Utility (ユーティリティ)]** タブを選択します。
3. **[Status Monitor... (状態モニタ)]** ボタンを選択します。[Rimage Everest 400 Status Monitor (Rimage Everest 400 状態モニタ)] ウィンドウが開き、**[Status (状態)]** タブがアクティブになります。

ヒント:[Status (状態)] タブ上に、印刷ジョブの進行状況、取り付けられた印刷リボンのタイプ、印刷可能枚数の推定値が表示されます。

4. 印刷位置または色濃度の設定を表示または変更する、もしくは Everest 400 プリンタの状態を表示するには、**[Printer Information (プリンタ情報)]** タブを選択します。



ヒント:[Printer Information (プリンタ情報)] タブでは、Everest 400 プリンタの現在のファームウェアバージョンおよびシリアル番号を確認することもできます。

- a. **[Print Alignment Settings (印刷位置設定)]** の表示または変更。
 - i. [Print Alignment Settings (印刷位置設定)] ペインの **[Modify (修正)]** ボタンを選択します。[Print Alignment Settings (印刷位置設定)] ダイアログが開きます。
 - ii. 希望に合わせて **Color/Monochrome (カラー/モノクロ)** 設定を選択し、すべてのリボンタイプに対する水平位置を変更します。
 - iii. 希望する **Color (カラー)** 設定を選択して、CMY リボンを使った印刷の垂直位置調整を変更します。
 - iv. 希望する **Monochrome (モノクロ)** 設定を選択して、モノクロリボンを使った印刷の垂直位置調整を変更します。
 - v. **[OK]** を選択して、変更内容を保存します。[Print Alignment Settings (印刷位置設定)] ウィンドウが閉じます。

Windows PC 上での印刷環境設定

- b. **[Color Density Settings (色濃度設定)]**を表示または変更します。
 - i. **[Color Density Settings (色濃度の設定)]** ペインから、**[Modify (修正)]** ボタンを選択します。**[Color Density Settings (色濃度設定)]** ダイアログが開きます。
 - ii. **Cyan (シアン)** および **Magenta (マゼンタ)**、**Yellow (イエロー)** の設定を選択して、色濃度を変更します。
 - iii. 希望する**[Black (ブラック)]**設定を選択して、モノクロ イメージの濃淡を変更します。
 - iv. **[OK]** を選択して変更を保存します。**[Color Density Settings (色濃度設定)]** ウィンドウが閉じます。
- 5. **[Close (閉じる)]** を選択して **[Status Monitor (状態モニタ)]** ダイアログ ボックスを閉じます。
- 6. **[OK]** をクリックして、**[Rimage Everest 400 Printing Preferences (Rimage Everest 400 印刷環境設定)]** ウィンドウを閉じます。

リボン残量のチェック

3410 および 5410N の正面にあるオペレータ パネルには、印刷リボンおよび再転写リボンの残量から印刷可能な枚数の推定値が表示されます。

印刷リボンと再転写リボンの交換

本セクションでは、統合された Everest 400 プリンタの印刷リボンおよび再転写リボンの交換に必要な情報をについて説明しています。リボンの寿命は、3 色印刷リボン (CMY) の場合でディスク 500 枚、4 色印刷リボン (CMY+W) で 325 枚、ブラック印刷リボン (モノクロ) で 1000 枚、再転写リボンで 500 枚です。これらの上限を超えた時点でリボンの交換が必要となります。

ヒント:印刷リボンおよび再転写リボンの交換方法は、YouTube のチャンネル www.youtube.com/user/RimageCorp の説明ビデオをご覧ください。

印刷リボンの交換

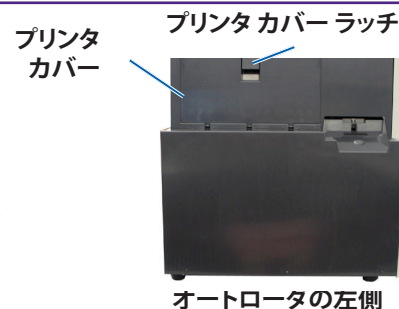
Everest プリンタのリボンを交換する際、または初めて新しいリボンを取り付ける際には、新しいリボンが環境に馴染むまで少し待ちます。温度や湿度の差が大きい時は、更に待ちます。

重要!

- Rimage は、当社プリンタに使用するリボンについては、Rimage ブランドのリボンのみをサポートしています。Rimage 以外のメーカーのリボンを使用した結果生じたプリンタの問題は、Rimage の保証または保守契約に含まれていません。
- 最善の結果を得るために、Everest のリボンは必ず華氏 41~95 度 (摂氏 5~35 度) の温度および 45~85% の湿度で保管してください。
- 湿気と直射日光は避けてください。
- リボンの再使用は避けてください。
- お使いの Everest 400 プリンタ専用モデルのリボンをご使用ください。
- リボン キャリヤは、システムの電源をオンにしなければ、取り外すことはできません。

印刷リボンの取り外し

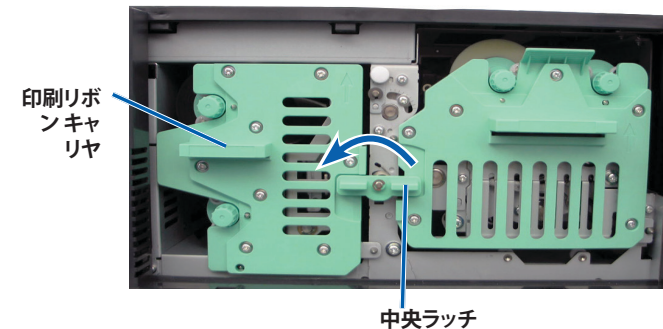
1. オートローダの左側にある**サイドカバー**を開きます。
 - a. **プリンタのカバー ラッチ**を押してプリンタ カバーを開きます。
 - b. **プリンタのカバー**を下げます。



2. 印刷リボンにアクセスします。
 - a. **中央ラッチ**を反時計回りに回転させ、ロックを解除します。
 - b. **印刷リボン キャリヤ**をプリンタからすべて引き抜きます。

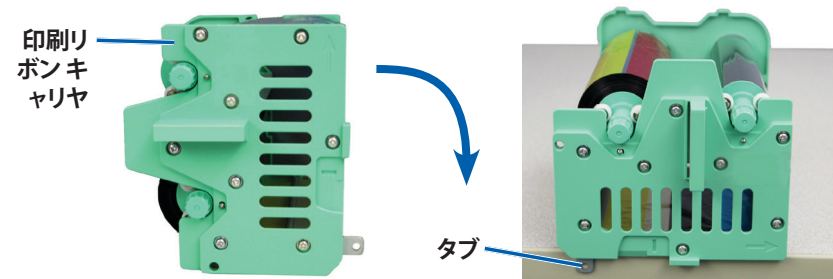
重要!リボン キャリヤは、システムの電源をオンにしなければ、取り外すことはできません。

ヒント:印刷リボンが外されている間に、クリーニング作業を行ってください。詳細情報は、26 ページの Everest 400 プリンタのクリーニングのセクション、または YouTube チャンネル www.youtube.com/user/RimageCorp の説明ビデオをご覧ください。



- c. **印刷リボン キャリヤ**を立てて置きます。キャリヤを平らな場所に置きます。

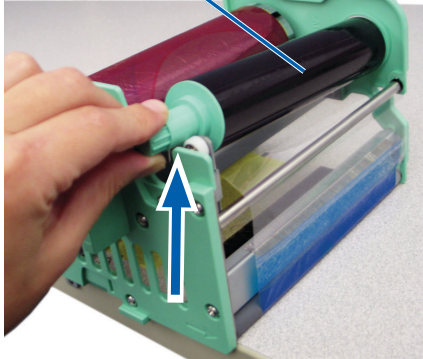
ヒント:印刷リボンの取り外し作業中は、印刷リボン キャリヤのタブ部分をテーブルや作業台の縁に引っ掛けるようにして固定します。



印刷リボンと再転写リボンの交換

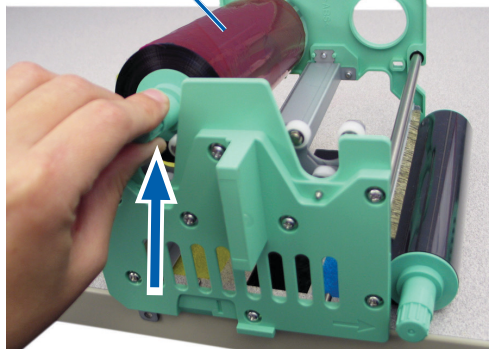
3. 使用済みの**印刷リボン**をキャリアから取り外します。
 - a. キャリヤ右側にある**供給ロール**を持ち上げて取り外します。
 - b. **供給ロール**を脇に置きます。

使用済みの供給ロール



- c. キャリヤ左側にある**巻き取りロール**を持ち上げて取り外します。
- d. **巻き取りロール**を脇に置きます。
- e. **印刷リボン キャリヤ**から印刷リボンを外し、脇に置きます。
- f. **使用済みの印刷リボン**を廃棄します。

使用済みの巻き取りロール



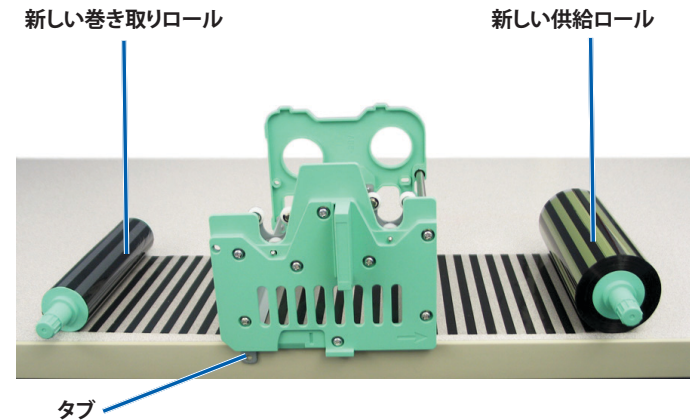
印刷リボンの取り付け

1. 新しい**印刷リボン**をパッケージから取り出します。
2. **印刷リボン**を印刷リボン キャリヤに取り付けます。

重要!新しいリボンをキャリアに取り付ける際は、黒色のクリーニングバーを超えてリボンを巻かないようご注意ください。Everest 400 プリンタに新しいリボンを取り付けると、リボンが回転しバーが印刷ヘッドを清掃します。

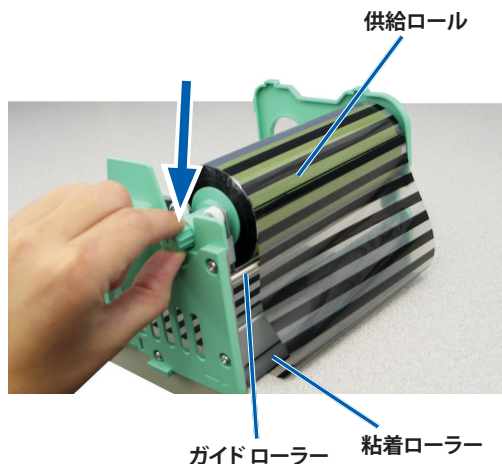
- a. 供給ロールを右側にして、**新しい印刷リボン**を十数センチ巻き戻します。
- b. 清潔で平らな場所に**印刷リボン**を置きます。
- c. **印刷リボン キャリヤ**を印刷リボンの上に置きます。

ヒント:印刷リボンの設置作業中は、印刷リボン キャリヤのタブ部分をテーブルや作業台の縁に引っ掛けるようにして固定します。

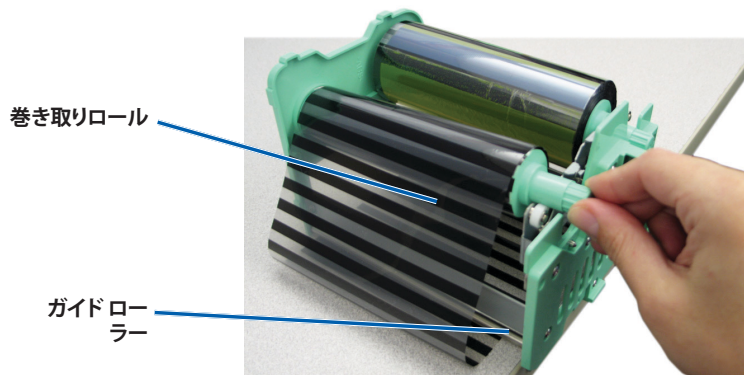


印刷リボンと再転写リボンの交換

- d. 供給ロールを持ち上げて、キャリアの右側にある粘着ローラーとガイドローラーを包むように巻きます。
- e. 図のように下方向に押しながら供給ロールを取り付けます。



- f. 巻き取りロールを持ち上げて、キャリアの左側にあるガイドローラーを包むように巻きます。
- g. 図のように下方向に押しながら巻き取りロールを取り付けます。

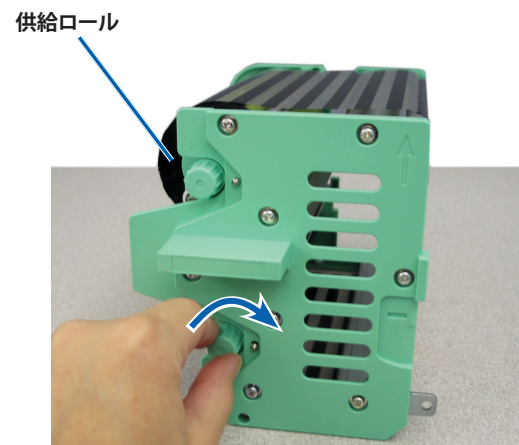


- h. 印刷リボンキャリアを直立させます。配給ロールはキャリアのトップに位置するようにしてください。

- i. 巻き取りロールを時計回りに回転させ、リボンのたるみを取ります。この際、リボンが正しい位置に設置され、またキャリアに対し平らになっているか確認してください。

ヒント:

- リボンをまっすぐに伸ばすには、粘着ローラーからリボンを持ち上げる必要があります。
- リボン前部の黒いクリーニングバーの位置を超えて、リボンを回転させないように注意してください。
- 黒(モノクロ)のリボンを装着した場合は、リボンのインク部分が巻き取りロールまで進むように、リボンを前進させます。



3. プリンタを元に戻します。
- a. 印刷リボンキャリアをプリンタの中に押し込みます。
- b. 中央ラッチを時計回りに回転させてキャリアをロックします。
- c. プリンタのカバーを閉めます。

ヒント:リボンの色はロットによって異なることがあります。場合によっては、新しいリボンを取り付けた後で、プリンタドライバで濃度設定を調節する必要があります。詳細情報については、17ページの「印刷位置および色濃度の調整」を参照してください。

プリンタの使用準備ができました。

印刷リボンと再転写リボンの交換

再転写リボンの交換

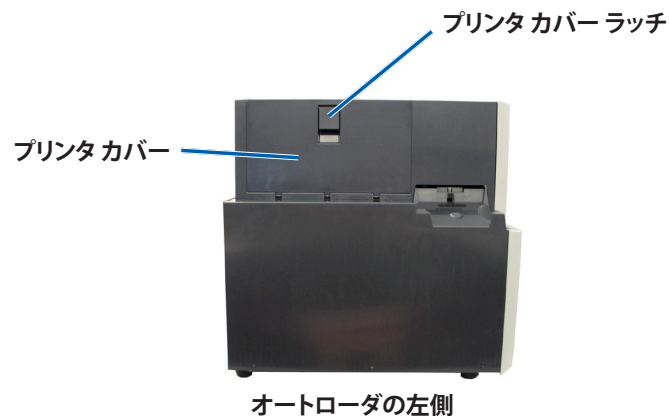
Everest プリンタの再転写リボンを交換する前または最初に取り付ける前に、新しいリボンが環境に慣れるまで少し待ちます。温度や湿度の差が大きい時は、更に待ちます。

重要!

- Rimage は、当社プリンタに使用するリボンについては、Rimage ブランドのリボンのみをサポートしています。Rimage 以外のメーカーが製造したリボンを使用した結果、プリンタに問題が発生しても、Rimage 保証やメンテナンス契約の対象外になります。
- 最善の結果を得るために、Everest のリボンは必ず華氏 41～95 度 (摂氏 5～35 度) の温度および 45～85% の湿度で保管してください。
- 湿気と直射日光は避けてください。
- リボンの再使用は避けてください。
- お使いの Everest プリンタのモデル専用のリボンをご使用ください。
- リボン キャリヤは、システムの電源をオンにしなければ、取り外すことはできません。

再転写リボンの取り外し

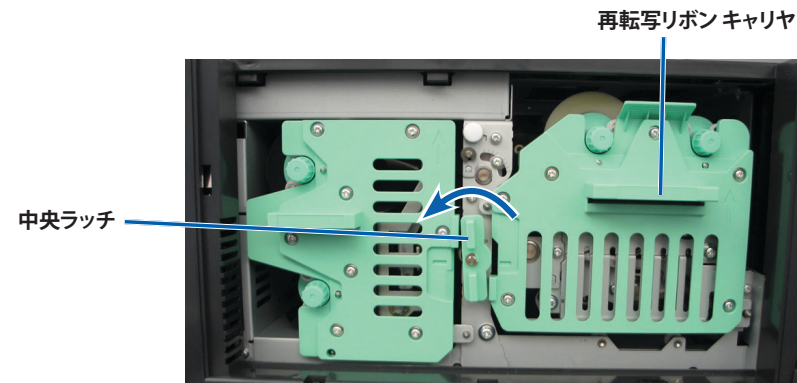
1. プリンタのカバーを開きます。
 - a. カバー ラッチを外してカバーを開きます。
 - b. プリンタのカバーを下げます。



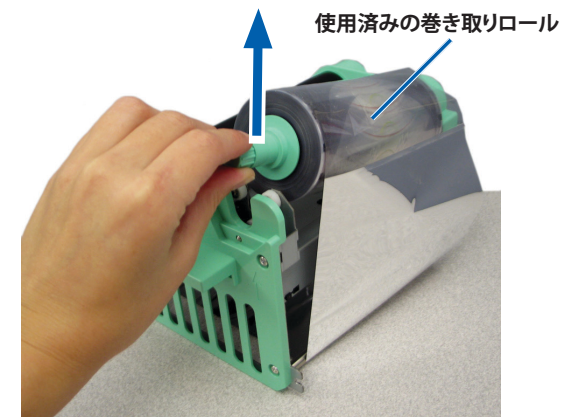
- c. 中央ラッチを反時計回りに回して、ロックを解除します。
- d. 再転写リボン キャリヤをプリンタからすべて引き抜きます。

重要!リボン キャリヤは、システムの電源をオンにしなければ、取り外すことはできません。

- e. 平らな場所に再転写リボン キャリヤを置きます。

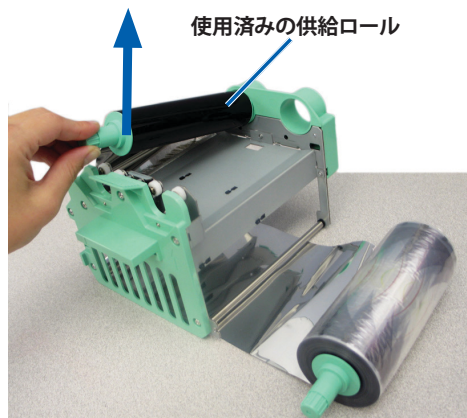


2. 再転写リボンを取り外します。
 - a. キャリヤ右側にある巻き取りロールを持ち上げて取り外します。
 - b. 巻き取りロールを脇に置きます。



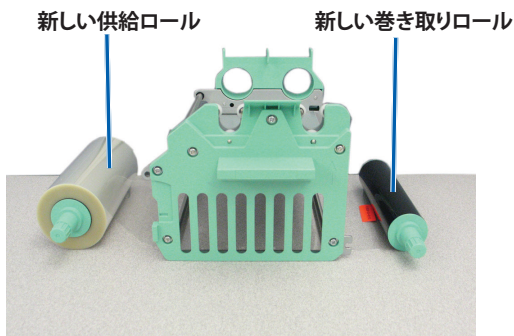
印刷リボンと再転写リボンの交換

- c. キャリヤ左側にある**供給ロール**を持ち上げて取り外します。
- d. **供給ロール**を脇に置きます。
- e. **再転写リボン** キャリヤを持ち上げて使用済みの再転写リボンを取り出し、脇に置きます。
- f. **使用済みのリボン**は、廃棄します。

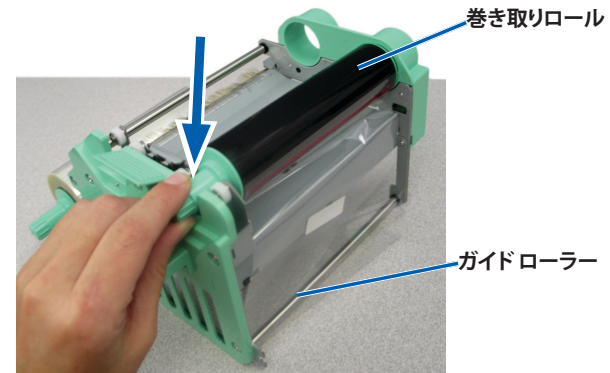


再転写リボンの取り付け

1. 包装容器から**最転写リボン**を取り出します。
2. 再転写リボン キャリヤに**再転写リボン**を慎重に取り付けます。
 - a. 供給ロールを左側にして、**再転写リボン**を数インチ巻き戻します。
 - b. 清潔で平らな場所に**再転写リボン**を置きます。
 - c. **再転写リボン** キャリヤを再転写リボンの上に置きます。

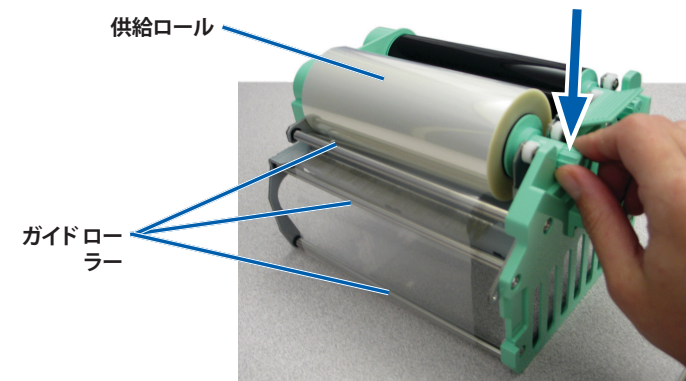


3. **再転写リボン**を取り付けます。
 - a. **巻き取りロール**を持ち上げて、キャリヤの右側にあるガイドローラーを包むように巻きます。
 - b. 図のように下方向に押しながら**巻き取りロール**を取り付けます。



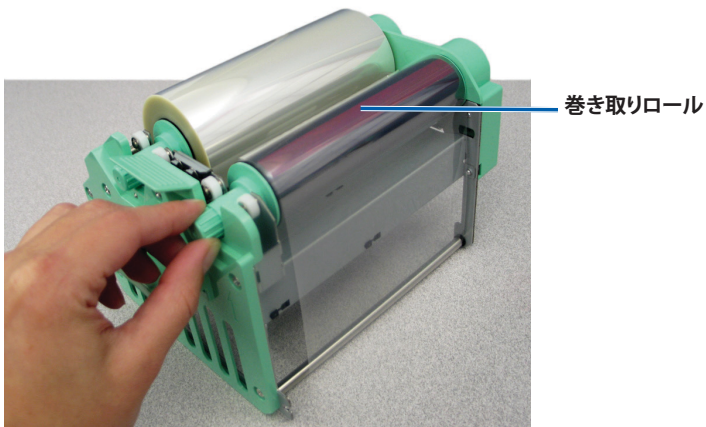
- c. **供給ロール**を持ち上げて、キャリヤの左側にあるガイドローラーを包むように巻きます。
- d. 図のように下方向に押しながら**供給ロール**を取り付けます。

ヒント:供給ロールの下側から再転写リボンが出るよう正しく装着されているかどうか確認してください。



印刷リボンと再転写リボンの交換

4. **巻き取りロール**を反時計方向に回転させ、再転写リボンのたるみを取ります。
 5. **プリンタ**を元に戻します。
 - a. **再転写リボンキャリア**をプリンタの中に戻します。
 - b. **中央ラッチ**を時計回りに回転させてキャリアをロックします。
 - c. **プリンタのカバー**を閉めます。
- プリンタの使用準備ができました。



巻き取りロール

3410 および 5410N のメンテナンス

本セクションでは、3410 および 5410N システム (統合の Everest 400 プリンタを含む) のメンテナンスについて説明します。

重要!印刷性能を最適化させるため、3410 および 5410N は埃のない清潔な場所に設置/保管してください。

概要

定期的な予防メンテナンスを行うことで、記録時のエラーをなくし、印刷ラベルをより鮮明に仕上げることができます。メンテナンスでは、システムをクリーニングします。

オートローダーとプリンタのメンテナンスについては、オートローダーに付属の『Rimage Professional 3410 および 5410N ユーザー ガイド』を参照してください。

注意事項

注意:メンテナンス中の 3410/5410N の破損を防ぐため、以下の点にご注意ください。

- システムの各部品には、オイルやシリコン、またはその他の潤滑油を使用しないでください。
- システム表面の清掃には、研磨剤が入っていない洗剤を使用してください。
- タッチスクリーンを拭き取る際には、湿らせたコットンクロスのみを使用してください。
- 内蔵 PC の清掃にはクリーナーを使用しないでください。
- オートローダーに直接洗剤をかけないでください。代わりに、糸くずの出ない布にクリーナーを付けます。

予防メンテナンス スケジュール

タスク	ツール	頻度
オートローダーのメンテナンス		
以下の部分に注意しながら、リフト アームのシャフトを拭きます。 - シャフトの基部のまわり - リフト アームのすぐ上の部分	糸くずの出ない布	毎週

タスク	ツール	頻度
オートローダーのメンテナンス		
以下の部分を含め、オートローダーの全表面を拭きます。 - 側面と上端 - ドア - 出力ビン - 回転トレイ - リフト アームの上面	- 糸くずの出ない布 - 研磨剤の入っていない万能クリーナー	毎週
オートローダー背面にあるファンから埃や塵を取り除きます。	圧縮空気缶	毎月
オートローダーの背面の開口部から埃や塵を取り除きます。	掃除機	毎月
オートローダーの前面および内部から埃や塵を取り除きます。	圧縮空気缶	毎月
統合された Everest 400 プリンタのメンテナンス		
印刷ヘッドを清掃します。26 ページのセクション「 印刷ヘッドのクリーニング 」を参照してください。	- 長い柄つきのスポンジ ブラシ (Everest クリーニング キットに含まれています) 99% のイソプロピル アルコール	ディスク 2000 枚以後 (必要に応じて) またはリボンを交換するごとに毎回
粘着ローラーのクリーニング。27 ページのセクション「 粘着ローラーのクリーニング 」を参照してください。	- 長い柄つきのスポンジ ブラシ (Everest クリーニング キットに含まれています) 99% のイソプロピル アルコール	ディスク 2000 枚毎またはリボン交換するごとに毎回
センサーを清掃します。28 ページのセクション「 センサーのクリーニング 」を参照してください。	- 長い柄つきのスポンジ ブラシ (Everest クリーニング キットに含まれています) 99% のイソプロピル アルコール	28 ページのセクション「 センサーのクリーニング 」を参照してください。

3410 および 5410N のメンテナンス

Everest 400 プリンタのクリーニング

定期的なクリーニングを行うことで、統合された Everest 400 プリンタを最適な状態に保つことができます。

印刷ヘッドのクリーニング

✳ 必要なツール:

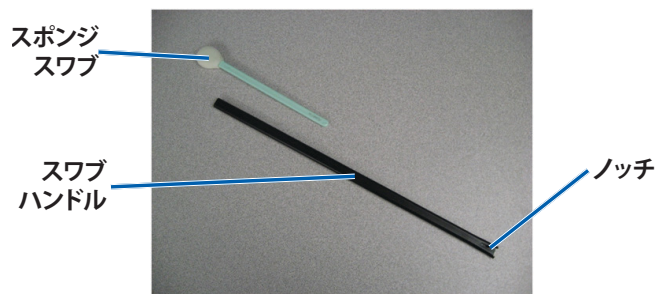
- 長い柄つきのスポンジ ブラシ (Everest クリーニング キットに含まれています)
- 99% のイソプロピル アルコール

1. 印刷ヘッドにアクセスします。

- a. **プリンタのカバー ラッチ**を外してプリンタ カバーを開きます。
- b. **プリンタのカバー**を下げます。
- c. **中央ラッチ** を反時計回りに回転させ、ロックを解除します。
- d. **印刷リボン キャリヤ**を取り外します。

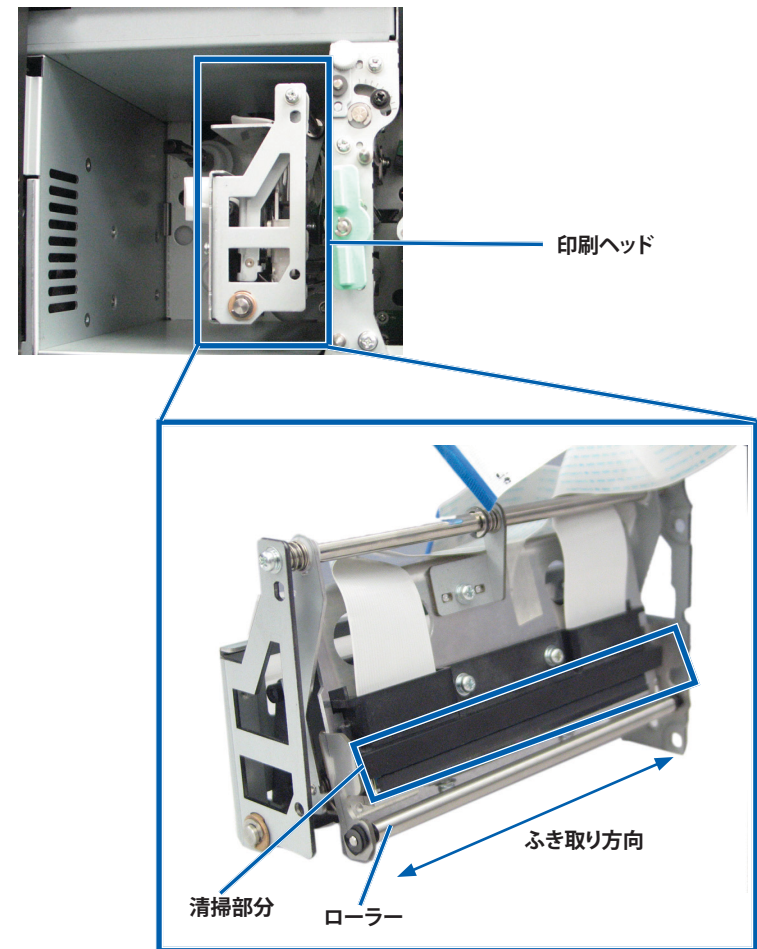
2. 印刷ヘッドを清掃します。

- ⚠ 注意!**印刷ヘッドに傷をつけないようにしてください。次のヒントを覚えておいてください。
- 印刷ヘッドの端から端まで、途中で手を止めず一気に拭き取ります。
 - 指示された部分以外を拭き取らないよう注意してください。
 - プリンタから印刷ヘッド コンポーネントを取り外さないでください。コンポーネントがプリンタから取り外された状態で表示されているのは、手順を示す目的のためです。



- a. Everest クリーニング キットから**スポンジ スワブ**と**スワブ用ハンドル**を取り出します。

- b. 必要に応じて、**スポンジ スワブ**をノッチ (V 字型の切込み) のないスワブ用ハンドルに挿入します。
- c. **スポンジ**に**イソプロピル アルコール**を塗布します。
- d. **スポンジ スワブ**を使用して**印刷ヘッド**の端から端までを下記の図に示した方向に拭き取ります。
- e. **印刷ヘッド**に埃や破片が無くなるまで必要に応じて繰り返します。
- f. **スポンジ**を使用して、印刷ヘッドの下の**ローラー**から、ろう状蓄積物を取り除きます。



3410 および 5410N のメンテナンス

3. 使用するプリンタの準備をします。
 - a. 印刷リボン キャリヤを取り付けます。
 - b. 中央ラッチを時計回りに回してキャリヤをロックします。
 - c. プリンタのカバーを閉めます。プリンタの使用準備ができました。

粘着ローラーのクリーニング

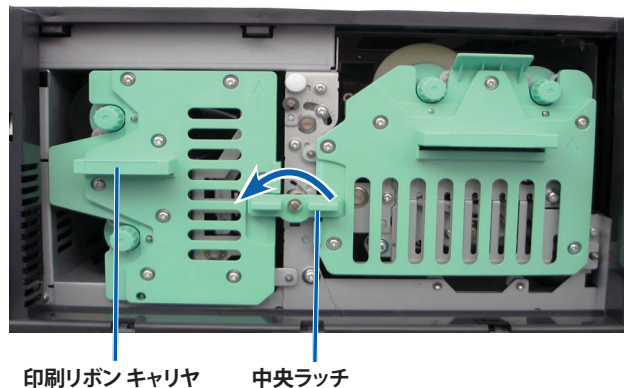
※ 必要なツール:

- 長い柄つきのスポンジ ブラシ (Everest クリーニング キットに含まれています)
- 99% のイソプロピル アルコール

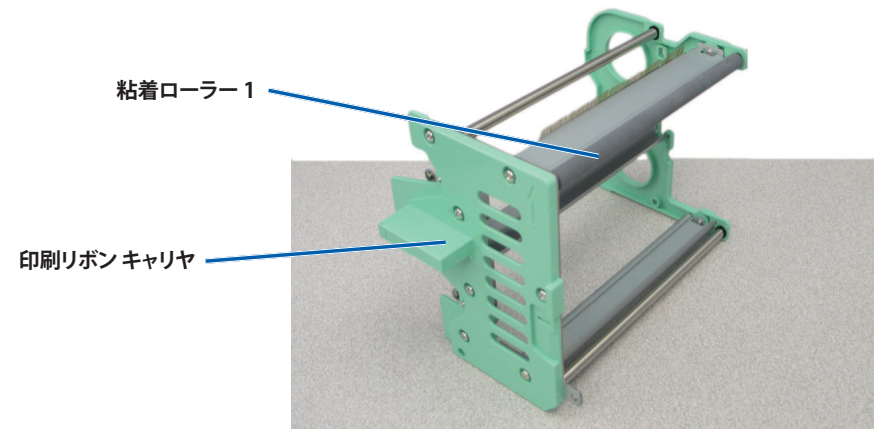
1. 印刷リボン キャリヤを取り外します。

重要!リボン キャリヤは、システムの電源をオンにしなければ、取り外すことはできません。

- a. プリンタのカバー ラッチを外してプリンタ カバーを開きます。
 - b. プリンタのカバーを下げます。
 - c. 中央ラッチ を反時計回りに回転させ、ロックを解除します。
 - d. 印刷リボン キャリヤを取り外します。
2. 印刷リボンを外します。特定の指示については、19 ページの手順「[印刷リボンの交換](#)」を参照してください。



3. 粘着ローラー 1 (印刷リボン キャリヤ上) をクリーニングします。
 - a. Everest クリーニング キットからスポンジ スワブとスワブ用ハンドルを取り出します。
 - b. 必要に応じて、スポンジ スワブをノッチ (V 字型の切込み) のないスワブ用ハンドルに挿入します。
 - c. スポンジにイソプロピル アルコールを塗布します。
 - d. スポンジ スワブを使用して粘着ローラー 1 を清掃します。
 - e. スポンジ スワブを使用して、印刷リボン キャリヤの別の部品からろう状の蓄積物を取り除きます。



4. スポンジを使用して、プリンタの内部の粘着ローラー 2 をふきます。
 5. 使用するプリンタの準備をします。
 - a. 印刷リボンを印刷リボン キャリヤに取付けます。特定の指示については、19 ページの手順「[印刷リボンの交換](#)」を参照してください。
 - b. 印刷リボン キャリヤをプリンタに取り付けます。
 - c. 中央ラッチを時計回りに回してキャリヤをロックします。
 - d. プリンタのカバーを閉めます。
- プリンタの使用準備ができました。

3410 および 5410N のメンテナンス

センサーのクリーニング

センサーのクリーニングが必要な場合は、次の通りです。

- プリンタが印刷リボンを認識できない、上部センサーが応答していない、下部センサーが応答していないという内容のエラーメッセージが表示された場合。
- 印刷が中心からずれている場合。

※ 必要なツール

- 長い柄つきのスポンジ ブラシ (Everest クリーニング キットに含まれています)
- 圧縮空気缶

1. センサーにアクセスします。

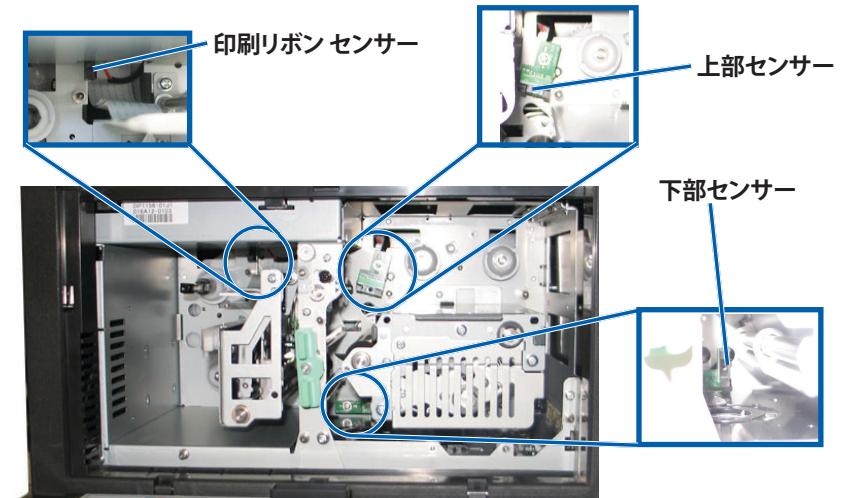
- a. すべてのジョブを停止するか、一時停止します。
- b. **リボン キャリヤ**の取り外し詳細は、19 ページと22 ページを参照してください。

重要!リボン キャリヤは、システムの電源をオンにしなければ、取り外すことはできません。

- i. **プリンタのカバー ラッチ**を外してプリンタ カバーを開きます。
 - ii. **プリンタのカバー**を下げます。
 - iii. **中央ラッチ**を反時計回りに回転させ、ロックを解除します。
 - iv. **印刷リボン キャリヤ**を取り外します。
 - v. **再転写リボン キャリヤ**を取り外します。
- c. **システムの電源をオフにする**詳細な手順は、12 ページの「**システムの電源をオフにする**」を参照してください。
 - i. 5410N あるいは 3410 システムの背面から**電源コード**を抜きます。
 - ii. **電源コード**をコンセントから抜きます。

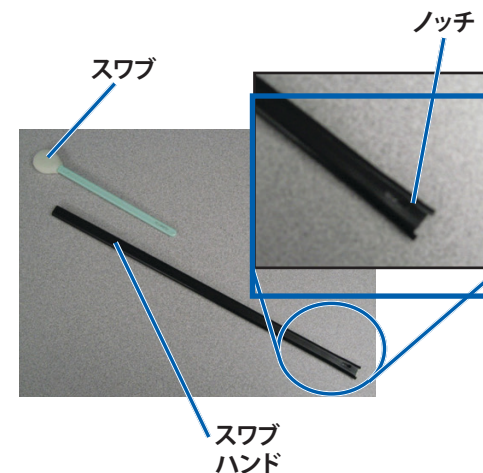
2. センサーの検索

- 印刷リボン センサー
- 上部センサー
- 下部センサー



3. 上部センサーのクリーニング

- a. Everest クリーニング キットから**スワブ**と**ハンドル**を取り出します。
- b. 必要に応じて、ハンドルから**スワブ**を取り外します。

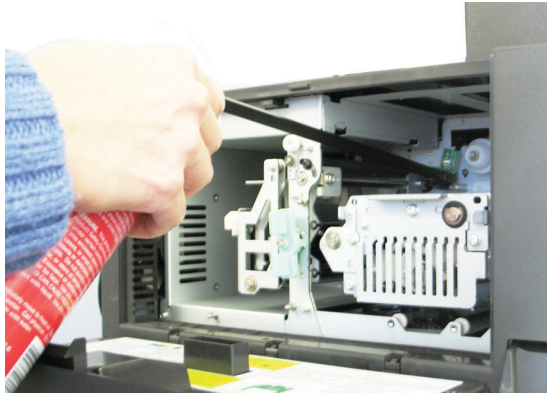


3410 および 5410N のメンテナンス

- c. 上部センサーに**ハンドルのスロットがついた先端**を置きます。センサーの位置は、28 ページを参照してください。

ヒント:ハンドルの先端の一方には、端から 0.6 センチほどのところにノッチ (V 字型の切込み) のあるスロットが付いています。こちら側がプリンタに挿入する方です。

- d. ノッチ (V 字型切込み) のないスワブ用ハンドルの先に**圧縮空気缶のノズル**を差し込みます。



- e. 1～2 秒間、**圧縮空気**を吹き付けます。
- f. これを2、3 回繰り返します。

4. 下部センサーのクリーニング。

- a. Everest クリーニング キットから**スワブとハンドル**を取り出します。
- b. 必要に応じて、ハンドルから**スワブ**を取り外します。
- c. 下部センサーに**ハンドルのスロットがついた先端**を置きます。センサーの位置は、28 ページを参照してください。

ヒント:ハンドルの先端の一方には、端から 0.6 センチほどのところにノッチ (V 字型の切込み) のあるスロットが付いています。こちら側がプリンタに挿入する方です。

- d. ノッチ (V 字型切込み) のないスワブ用ハンドルの先に**圧縮空気缶のノズル**を差し込みます。

- e. 1～2 秒間、**圧縮空気**を吹き付けます。
 - f. これを2、3 回繰り返します。
5. システムの使用準備をします。
- a. **印刷リボン キャリヤ**を交換します。
 - b. **再転写リボンのキャリア**を交換します。
 - c. **プリンタ カバー**を閉めます。
 - d. **システム**の電源オンにします。
 - i. **電源コード**を 5410N あるいは 3410 の背面に接続します。
 - ii. **電源コード**をコンセントに差し込みます。
 - iii. **5410N** または **3410** の電源をオンにします。詳細な手順は、12 ページの「[システムの電源をオンにする](#)」を参照してください。

プリンタの使用準備ができました。

Gemini ユーティリティの操作

Gemini ユーティリティの操作

Rimage ソフトウェアには、システムの表示名の変更および警報器の有効化を行うための Gemini ユーティリティというアプリケーションが含まれています。Gemini ユーティリティは、Rimage Software Suite—Network で起動している Professional 5410N および Professional 3410 で利用可能です。

ヒント:

- 5410N 用の Gemini ユーティリティにアクセスするには、ネットワークに接続された PC からリモート デスクトップ接続を使用するか、または 5410N にモニタ、キーボード、マウスを接続します。
- 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 7 のパスを示しています。Windows 7 以外の Windows オペレーティングシステムのナビゲーションは多少異なる場合があります。

Gemini ユーティリティの開始

- すべてのアプリケーションを閉じ、すべての Rimage サービスを終了します。

ヒント:詳細情報は、Rimage Software オンライン ヘルプを参照してください。

- Windows の [スタート] メニューで、以下を選択します。[All Programs (すべてのプログラム)] > [Rimage] > [Utilities (ユーティリティ)] > [Gemini Utilities (Gemini ユーティリティ)] の順に選択します。Gemini ユーティリティが開きます。
- 目的の作業が完了したら、**Rimage サービス**を開始します。

オートローダの表示名の変更

Gemini ユーティリティを使用して、オペレータ パネルに表示される名前を入力します。

重要!表示名を変更しても、ネットワークやワークグループ上のシステム名は変更されません。ネットワークやワークグループ上のシステム名を変更するには、使用しているシステムのセットアップおよびインストールガイドか『Rimage Advanced Setup (Networking) Guide (Rimage アドバンスド セットアップ (ネットワーク) ガイド)』を参照してください。

- [Override Name (名前の変更)] チェックボックスをオンにします。
- [Use Computer Name (コンピュータ名を使用)] チェックボックスをオフにします。
- [Display Name (表示名)] フィールドに新しい名前を入力します。
- [Set Params (パラメータを設定)] を選択し、名前を設定します。
オペレータ パネル表示名が設定されました。

警報器を有効にする

メディアがなくなったときやエラーが発生したときに警報が鳴る回数を変更できます。

- [# of Beeps on Fault (警報数)] フィールドで、エラー発生時に鳴らす警報の回数を選択します。

ヒント:警報器を無効にするには、警報数をゼロに設定します。

- [Set Params (パラメータを設定)] を選択し、警報数を設定します。
警報器が設定されました。